**2023年5月13日（土）第2回本部役員会**

開催地 佛教大学 紫野キャンパス 鹿渓館 地下 1 階 通信学友会室＋ZOOM オンライン上

時間 5月13日（土）14:30～17:00

**参加者**

本学・Zoom同時開催

★会長　高橋孝一

★総務部長・課外推進部長　加村友多

★会計部長　齊藤二雄

★企画部長　小谷深乃

学習活動部長　小川恭子

広報部長　山本和紀

計：6名

★＝本学参加者

**議事進行**

（1）会長　開会挨拶

（2）議長と書記の選出（特に異議がなければ　議長は加村　書記は山本・小川）

（3）主要テーマに沿って議事進行

**主要テーマ**

1. 課外活動について（課外活動推進部）

●通信学生課に申請があった団体について、情報提供お願い致します。（通信学生課　様）

⇒現時点で3団体の申請あり

⇒写真部 10名, 日本の四季を楽しむ会 1名, フォークソング研究会 7名

⇒齊藤様 ネットゲーム部を立ち上げる,  
小谷様 何らかの部を立ち上げる(内容は後日検討)

●上記団体の承認手続きを行います。（学友会本部）

⇒申請のあった3団体について承認する

●課外活動の現規則（内規）の対面活動についてご説明があります。（通信学生課　様）

⇒今後文言を見直して、修正が必要であれば修正する。

⇒第3条 ⑤ 「申請時に5名以上の在籍があること」の文言は削除いただく。

●上記の質疑応答を含めて、現規則（内規）の文言等の改正があれば提案します。（学友会本部）

●課外活動団体に対する割り当てZOOMの取り扱いをどのようにするか、明確に明文化します。

内規に盛り込むのが望ましいのかも含め。（学友会本部）

⇒ZOOMアカウント「t-gakuyu2」割り当てる。重複した際は、加村様が調整する。

●上記全体の議論をまとめて、改正箇所があれば承認手続きを行います。（学友会本部）

1. 学友会公式LINEについての現状報告と問題点の確認（企画部・広報部・総務部）

●現状の報告（学友会本部）と通信学生課の見解（通信学生課　様）

⇒公式LINEは、学習会のイベントなどの情報を手軽にキャチできるように、chat bot形式にて問い合わせができるようになっている。

⇒当面運用を行い、LINEの利用費用が発生するタイミングで別途検討する。

●問題点の補足↓↓↓

運用をどうするか【一時的・継続的（LINE）】、公式情報とどのように取り扱うか【一次情報】、その加工【二次情報】の取り扱いについて。（学友会本部・通信学生課様）

●上記は現在進めている学友会WEBサイトに着いても同様の課題があるので、合わせて意見を出しあう。（学友会本部）

⇒B-net、WEB、LINEは平行して運用し情報発信を行う。

⇒LINEやWEBは登録や、見に行くという行為が必要。

⇒本学、学友会のイベントを通知できるのはLINEの利点。

●具体的な作業分担を明確にする。一次情報の入手し、広報（WEBとＬＩＮＥ）用に再加工する二次情報をどのように作って行くか。また、学友会本部として、どう広報するかの実務的な事柄。（学友会本部）

⇒学友会ホームページの提案内容を読み込んだ上で、作業内容の洗い出しを行い、本部役員会議で作業分担を明確にする。作業の担当は山本。

1. 夏の祭典の継続審議（企画部・会長）

課題と現状の再確認、要望・運営等の継続審議（学友会本部・通信学生課様）

⇒企画内容の紹介。昨年と同様のクイズ企画。日テレドラマ「大病院占拠」をテーマにした内容。タイトルは「佛大通信占拠」 。オンラインとオンサイトの混成でのチーム編成。回答方法は公式LINEの使用を検討

⇒夏の祭典の開催日時8/19(土) 18:15～20:15

⇒開催場所については確認中。鹿渓館のカフェコーナで調整中。  
飲み物, 食事等についても確認。イベントの景品は検討中(￥30,000くらい)。

⇒学友会として、本企画の費用としてどの程度を考えているのかを学生課に連絡する。

⇒本学からの参加者は50名、参加費は一人￥2,500を考えている。参加者は事前登録制とする。

⇒次回以降、タイムスケージュールを作成する。

1. 要望書アンケートの審議開始（調査渉外部・総務部）

アンケートの方向性の確認。既存学生の意見も重要であるが、新入生が何を求めているのか？実態は等なっているのか？もう少し細かい要望を統計的に見る必要があるのではないか・・・との視点で、新しい取り組みも考えてみる。

⇒次回持ち越し

1. その他　なにかあれば（全本部役員）｛終了目標時間を過ぎた場合は審議しません｝。

⇒7/8 北海道ブロックの学習会に応援に行く予定

⇒5/27 九州ブロックの学習会を本部支援で福岡にて開催予定

（4）会長　閉会挨拶

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　議事録作成　小川恭子,山本和紀

以上